

目次

第 8 章 環境影響評価準備書からの主な変更内容	8-1
--------------------------------	-----

表番

表 8 . 1 . 1 環境影響評価準備書からの主な変更内容	8-2
--------------------------------------	-----

第 8 章 環境影響評価準備書からの主な変更内容

環境影響評価準備書からの主な変更内容を表 8.1.1 に示します。

表 8.1.1 (1) 環境影響評価準備書からの主な変更内容

項目	評価書頁	準備書での記述	評価書での記述
第 1 章	P.1-10	<p>2) 当該事業における一般的な環境保全の方針</p> <p>12. 施工管理の一環として、工事による河川水質への影響の有無を確認するため、小嵐川及び工事排水が想定される地点等適切な調査地点を設定し、着工前から環境基準に準拠した項目・手法による水質調査を行い、対応します。</p>	<p>2) 当該事業における一般的な環境保全の方針</p> <p>12. 施工管理の一環として、工事による河川水質への影響の有無を確認するため、小嵐川及び工事排水が想定される地点等適切な調査地点を設定し、着工前から環境基準に準拠した項目・手法による水質調査を行い、必要に応じて保全対策を検討し適切に実施します。</p>
	P.1-10 P.6-1	-	<p>15. トンネル掘削等における、地質由来の有害金属による河川、地下水への影響については、事前に先進ボーリング等により採取した試料の溶出量試験等を行うとともに、工事排水の水質監視を行い、必要に応じて保全対策を検討し適切に実施します。</p>
		-	<p>16. 建設発生土の利用にあたっては、事前に有害金属等の含有量試験等を行い、有害性が確認された場合は、保全対策を検討し適切に実施します。</p>
	P.1-10	-	<p>19. 小動物の生息環境を保護する観点から、設計段階において、小動物の移動経路の確保等について検討を行い、必要に応じて保全対策を適切に実施します。</p>

表 8.1.1 (2) 環境影響評価準備書からの主な変更内容

項目	評価書頁	準備書での記述	評価書での記述
第 2 章 第 2 節	P.2-91 ~ 112 P.2-117 P.2-119 ~ 128 P.2-131 ~ 135 P.2-139 ~ 141	4 . 動植物の状況 表 2 . 2 . 4 表 2 . 2 . 6 表 2 . 2 . 7 表 2 . 2 . 8 表 2 . 2 . 9 表 2 . 2 . 1 0 表 2 . 2 . 1 1 表 2 . 2 . 1 2 表 2 . 2 . 1 4 表 2 . 2 . 1 5	4 . 動植物の状況 環境省レッドリスト改訂に基づ く更新 表 2 . 2 . 4 表 2 . 2 . 6 表 2 . 2 . 7 表 2 . 2 . 8 表 2 . 2 . 9 表 2 . 2 . 1 0 表 2 . 2 . 1 1 表 2 . 2 . 1 2 表 2 . 2 . 1 4 表 2 . 2 . 1 5
第 3 章	P.3-1	第 1 節 専門家等による技術的助言	第 1 節 専門家等による技術的助言 専門家等の氏名を追加
	P.3-3	表 3 . 1 . 1 -	表 3 . 1 . 1 専門家等の指導・助言内容を追 加
第 4 章 第 1 節	P.4-1-40	-	図 4 . 1 . 1 8 大気質濃度の距離減衰図を追加
第 4 章 第 2 節	P.4-2-26	-	図 4 . 2 . 7 騒音の距離減衰図を追加
第 4 章 第 6 節	P.4-6-23 ~ 28 P.4-6-53 ~ 62	(7) 予測結果 2) 予測対象種の選定結果 表 4 . 6 . 8 - 3) 予測結果 -	(7) 予測結果 2) 予測対象種の選定結果 表 4 . 6 . 8 文献で確認されたが現地調査で 確認されなかった注目すべき種を 予測対象種に追加 3) 予測結果 文献で確認されたが現地調査で 確認されなかった注目すべき種を 追加
	P.4-6-66 ~ 69 P.6-1	3 . 保全対策 表 4 . 6 . 9 表 4 . 6 . 1 0 表 4 . 6 . 1 1 表 4 . 6 . 1 2 表 6 . 1 . 1 (1)	3 . 保全対策 ヤマユリの保全対策及び事後調 査を追加 表 4 . 6 . 1 0 表 4 . 6 . 1 1 表 4 . 6 . 1 2 表 4 . 6 . 1 3 表 6 . 1 . 1 (1)

表 8.1.1 (3) 環境影響評価準備書からの主な変更内容

項目	評価書頁	準備書での記述	評価書での記述
第 4 章 第 7 節	P.4-7-30 ~ 31	-	底生動物 底生動物確認種リストを追加 表 5.7.1 4
	P.4-7-37 ~ 44	(7) 予測結果 2) 予測対象種の選定結果 - 表 4.7.2 0 表 4.7.2 1 表 4.7.2 2 表 4.7.2 3 表 4.7.2 4 表 4.7.2 5 表 4.7.2 6	2) 予測対象種の選定結果 文献で確認されたが現地調査で 確認されなかった注目すべき種を 予測対象種に追加 表 4.7.2 0 表 4.7.2 1 表 4.7.2 2 表 4.7.2 3 表 4.7.2 4 表 4.7.2 5 表 4.7.2 6
	P.4-7-102 ~ 112	(3) 予測結果 -	(3) 予測結果 文献で確認されたが現地調査で 確認されなかった注目すべき種を 追加。
第 4 章 第 8 節	P.4-8-19 P.4-8-77 P.4-8-79 P.4-8-80 P.4-8-81 P.4-8-83 P.4-8-59	表 4.8.4 表 4.8.2 5 表 4.8.2 6 表 4.8.2 7 表 4.8.2 8 表 4.8.2 9 4 . 予測結果	アカシサンショウウオを指標 種に追加 表 4.8.4 表 4.8.2 5 表 4.8.2 6 表 4.8.2 7 表 4.8.2 8 表 4.8.2 9 4 . 予測結果
第 4 章 第 11 節	P.4-11-3	3 . 環境保全対策検討結果の整理 表 4.11.4 保全対策 -	3 . 環境保全対策検討結果の整理 表 4.11.4 保全対策 なお、建設発生土を仮置する場 合には、自然環境の保全に配慮し て仮置場所の選定を行います。
第 6 章	P.6-2	表 6.1.1 (2) 生態系：動物相・植物相	表 6.1.1 (2) (概ね 3 年間 (2 営業期)) 生態系：動物相・植物相 施工ヤードの設置にあたって は、生態系への影響に配慮して計 画を具体化し、及ぼす影響を把握 するとともに、保全措置を検討し 適切に実施します。さらに事後調 査を行い生態系の変化を把握しま す。